

真駒内地域 小規模校検討委員会ニュース

※ 真駒内地域小規模校検討委員会では、子どもたちのためのよりよい教育環境の実現のため、学校統合に向けた具体的な事項について検討を進めています。

検討委員会では、地域の皆様の意見も踏まえ検討を進めていきます。皆様からのご意見をお待ちしております。(ご意見の提出先は、4ページをご参照ください。)

統 合 パ タ ー ン が 決 定 し ま し た

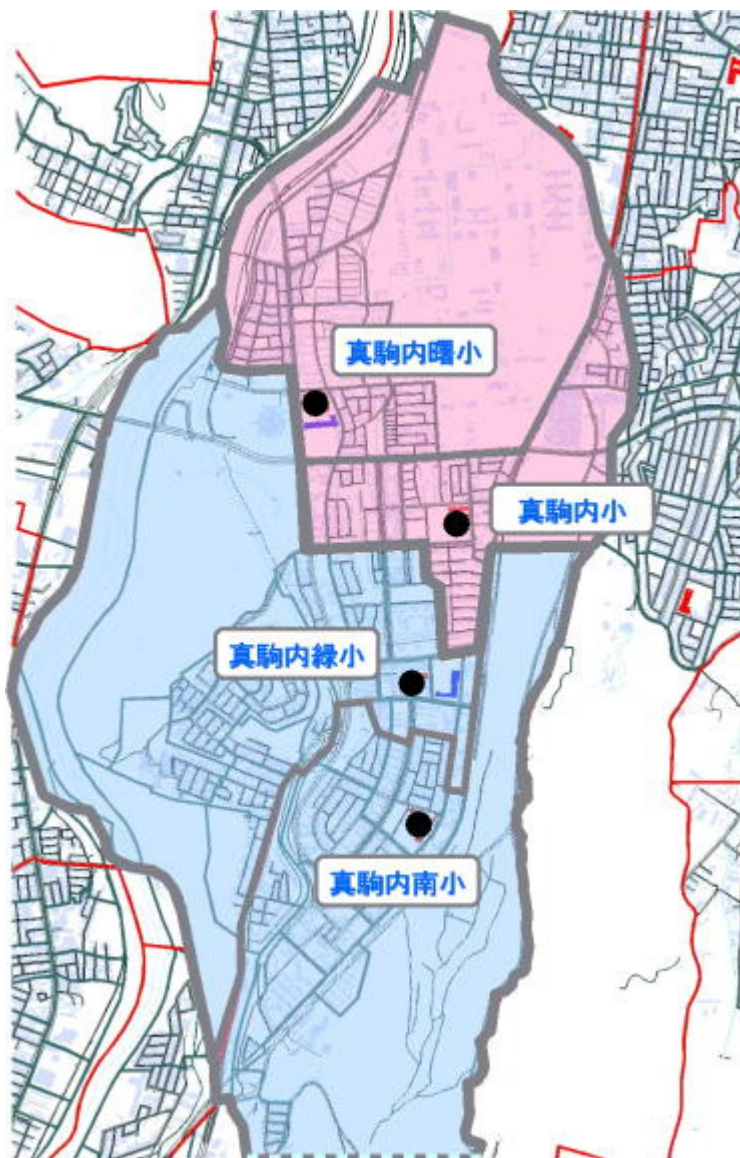
真駒内地域小規模校検討委員会では、これまで3回にわたり「どのような統合を行うのか」の検討を続けてきました。

第4回の検討委員会において、これまでの検討の経過を踏まえて、真駒内地域の統合の形を決定しました。

真駒内小学校と
真駒内曙小学校を統合

真駒内南小学校と
真駒内緑小学校を統合

今後、統合校の位置や統合の時期などについて、引き続き検討を進めていきます。



■第4回検討委員会における検討

第4回検討委員会は、平成21年3月6日午前10時より、真駒内小学校にて開催されました。

これまで検討を行ってきた各統合パターン（※）を踏まえ、改めて望ましい統合の形を検討した結果、真駒内地域の学校統合は、Bパターン（現在の通学区域をそのまま組み合わせた 真駒内小と真駒内曙小、真駒内南小と真駒内緑小の統合）が最も望ましいという結論となりました。

これを真駒内地域の小学校統合の形として決定し、統合校の位置や統合の時期などのその他の要素について、さらに検討を進めていきます。

）これまでの検討の内容については、検討委員会ニュース第2、3号をご覧ください。（検討委員会ニュースは、教育委員会のホームページに掲載しているほか、教育委員会計画課、南区役所広聴係、真駒内まちづくりセンターでも配布しています。）

■決定した統合パターン（通学距離と学級数・児童数の見込み）

（北部）真駒内小と真駒内曙小

（南部）真駒内南小と真駒内緑小



）上記の距離データは、各校を統合校の位置とした場合の最も遠い地点からの通学距離
 ）赤線は、現在の通学区域の境界を表わしたもの

学級数・児童数の見込み

	（北部）真駒内小+真駒内曙小					（南部）真駒内南小+真駒内緑小				
	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
学級数	18	17	16	15	16	23	22	21	19	18
児童数	536	499	506	504	489	737	702	656	619	563

）学級数及び児童数は、札幌市教育委員会計画課による推計値（平成19年度作成）

■各委員からの意見

■統合パターン決定に関する意見

- ・同じ小学校の子どもたちと一緒に統合先へ移動する方が、心の負担は少ない。
- ・子どもにとって大事なものは、入れ物ではなく友だちである。Bパターンであれば、今の友だちと別れることなく、さらに人数が増えることで今までできなかったことも統合先の学校で出来るようになると思う。
- ・寄せられた意見にもあるとおり、『賛成はしかねるが異論を述べるつもりはない』という保護者がほとんどだと思う。ただし、校区を分けてまで統合に賛成という保護者はほとんどいないと感じている。
- ・反対意見が寄せられていないのは、既存の校区のまま南北に分けるという思いでいるからだと思うが、校区の一部に分けるということとなれば別の問題となっていくと思う。児童数だけを見ないで、気持ちの部分で大事にしたい。
- ・統合後に各学年2クラスが確保されるのであれば、校区を変えないBパターンでいくのが一番いいと思う。
- ・統合の目標時期を早く設定して、前向きに動きたいという思いもあるため、中途半端な状態があまり長く続かない方がいいと思う。
- ・東町、緑町4丁目は、現在も同じ中学校に進学する児童数が少ないので、統合に合わせて、進学する中学校について、配慮する必要がある。
- ・児童数が少ない北部の真駒内小と真駒内曙小が統合して、将来的に児童数、学級数は大丈夫なのかという懸念がある。
- ・将来的に北側の学校の児童数が不安定な状況になってきた場合には、通学区域の変更について、再度考えていく必要があると思う。
- ・統合は、地域の方々の色々な思いがあるが、子どもたちのために何とかよい教育環境をつくっていくということである。事務局に寄せられた意見の中にも、よりよい方向の統合を願っているという記述もあり、今後も勇気を持って検討していきたい。



■第4回検討委員会の決定事項

学校規模や通学距離、子どもたちの気持ちなどを考えた結果、現在の通学区域をそのままに、真駒内小学校と真駒内曙小学校、真駒内南小学校と真駒内緑小学校を統合するという事で決定する

■地域の方々からご意見を頂きました

検討委員会ニュースをご覧になった地域の方から、数件のご意見が寄せられました。第4回検討委員会では、これらのご意見を踏まえて検討を行いました。

事務局へ寄せられたご意見につきましては、全て検討委員会へ報告しています

■事務局へ寄せられた主なご意見

柏丘から真駒内南小学校に通うとした場合、かなりの通学距離になる。路線バスの通学費助成を行うということだが、バスの増便など検討するのか。

エドウィンダン記念公園の脇に、長時間の駐車車両があり、通学安全面で不安がある。

柏丘から真駒内南小学校に通うとした場合、川を迂回することになり、橋を設置するなら別だが、無理があるのではないか。

正直なところ、統合には賛成ではないが、決定したことに異論を述べるつもりはない。ニュースを見て、つくづく検討委員の苦心を感じる。多くの人たちにとって、よい方向の統合となることを願っている。

）ご意見につきましては、趣旨をそこなわない範囲で要約させていただきました。
紙面の都合により、掲載できなかったご意見もありますのでご了承ください。

■ご意見①について(事務局より)

P2に記載の図で示しておりますとおり、柏丘から真駒内南小学校へ通う際の通学距離につきましては、概ね2kmの範囲内であることから、徒歩通学可能と考えており、現在のところ路線バスの活用による通学費の助成については、考えておりません。

■ご意見②、③について(検討委員会)

今後、通学安全に関する検討や統合校位置について検討を行う際の参考とさせていただきます。

■第5回検討委員会について

第5回検討委員会の開催は、新年度(21年度)となります。次回は、統合校の位置に関する検討などを行う予定です。

■真駒内地域の皆様からのご意見をお待ちしております

ご意見は、下記の検討委員会事務局までお寄せください。

■真駒内地域小規模校検討委員会事務局

札幌市教育委員会 総務部計画課(配置計画担当)

〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 STV北2条ビル5F

TEL 011-211-3836 / FAX 011-211-3837

E-Mail haichikeikaku@city.sapporo.jp

※ これまでの検討委員会ニュースにつきましても、札幌市教育委員会ホームページに掲載しています。

http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/shokibo_kentou.html